



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町5-23
西宮YMCA内
☎(0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2014年4月会報 第307号

主 題 ・ 標 語

- 国際会長 (I P) Poul V. Thomsen (デンマーク)
 主題: "Go Ye Into All The World" 「全ての世界に出て行こう」
 標語: "Extension, Extension, Extension."
 「エクステンション、エクステンション、エクステンション」
- アジア地域会長 (AP) 岡野 泰和 (日本)
 主題: "Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」
 標語: "One Asia, One World" 「ひとつのアジア、世界はひとつ」
- 西日本区理事 (RD) 高橋 稔彦 (岩国みなみ)
 主題: 「志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう。」
 "Attend club meetings with a clear motive to make the most of them."
 標語: 「経験がワイズを育みます」
 "Your experience makes you a good Y's man."
- 六甲部長 山田 滋己 (神戸ポート)
 主題: 「さらなる交流 さらなる国際 さらに活発な六甲部へ」
 《一つ一つの楽しい活動を原点にして》
- 宝塚クラブ会長 石田 由美子
 主題: 「交流こそワイズの楽しさ」

今月のテーマ: YMCA サービス・ASF(アレキサンダーファンド)
 「まだ遠く離れていたのに、父親は息子を見つけて、憐れに思い、走り寄って首を抱き、接吻した。・・・父親は僕たちに言った。「急いでいちばん良い服を持って来てこの子に着せ、手に指輪をはめてやり、足に履物を履かせなさい。それから、肥えた子牛を連れてきて屠りなさい。食べて祝おう。この息子は、死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったからだ。」

(ルカ 15:20-24)

2014年4月第1例会

日 時: 2014年4月9日(水)18:30

場 所: 宝塚ホテル ゴールドの間

会 費: 会員3,000円、会員外3,500円

ドライバー 加藤 光信
 福田 宏子
 石田由美子会長
 全 員
 桑田 勝弥
 堀江 裕一
 石田由美子会長
 会長・各委員長
 谷川 尚連絡主事

開会点鐘

ワイズソング

聖 書

祈 禱

ゲスト・ビジター紹介

会長・委員会報告

YMCA 報告

会 食

お 話 「国際交流ってなに！」

NPO 法人宝塚市国際交流協会 理事長

加藤 啓子さん

誕生日のお祝い

閉会点鐘

石田由美子会長

2013/14 役員	会 長 石田由美子 直前会長 長尾 亘 副会長 杉谷和代、福田宏子 書記 若林成幸 会 計 吉田 明、堀江裕一 会計監査 今田 稔 メネット連絡 福田素子 連絡主事 谷川 尚 六甲部Y 'S・ユース事業主査 長尾 亘																													
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 長尾 亘 地域奉仕・環境 山崎泰男 EMC 多胡葉子 交 流 杉谷和代 ファンド 堀江裕一 広 報(ブリテン) 長尾 亘、(HP) 長尾 亘																													
特別事業 委員長	NGO 三品ミチ子 じゃがいも 福田 肇 バザー 山崎泰男 市民クリスマス 若林成幸																													
お誕生日 おめでとう!	沢田 郁(4月23日) 小嶋星子(4月26日)																													
3 月 実 績	<table border="0"> <tr> <td>在籍会員数</td> <td>24名</td> </tr> <tr> <td>例会出席者数</td> <td>29名</td> </tr> <tr> <td>うち会員数</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td>出席率</td> <td>75.0%</td> </tr> <tr> <td>メイクアップ(内数)</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>メネット</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>コメント・マゴメント</td> <td>0名、ゲスト・ビジター10名</td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td>B Fポイント</td> <td>3月</td> <td>3,500円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>累 計</td> <td>27,785円</td> </tr> <tr> <td>にこにこBOX</td> <td>3月</td> <td>4,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>累 計</td> <td>25,000円</td> </tr> <tr> <td>物品販売累計</td> <td></td> <td>8,300円</td> </tr> </table>	在籍会員数	24名	例会出席者数	29名	うち会員数	18名	出席率	75.0%	メイクアップ(内数)	0名	メネット	1名	コメント・マゴメント	0名、ゲスト・ビジター10名	B Fポイント	3月	3,500円		累 計	27,785円	にこにこBOX	3月	4,000円		累 計	25,000円	物品販売累計		8,300円
在籍会員数	24名																													
例会出席者数	29名																													
うち会員数	18名																													
出席率	75.0%																													
メイクアップ(内数)	0名																													
メネット	1名																													
コメント・マゴメント	0名、ゲスト・ビジター10名																													
B Fポイント	3月	3,500円																												
	累 計	27,785円																												
にこにこBOX	3月	4,000円																												
	累 計	25,000円																												
物品販売累計		8,300円																												

3月第1例会報告

3月第一例会は12日(水)午後6時半より石田会長による開会点鐘で始まりました。

会長より参加者の紹介後、YMCA報告。多胡メンより3月11日の「希望の凧揚げ」、山崎メンより「バザー開催要項」、6月14日～15日の岩国での「西日本区大会」の事が報告。

次に沢田郁さんの入会式が西日本区EMC事業主任為国光俊氏、六甲部EMC事業主査小野勲氏立会いのもと行われました。

石田会長より入会式文が読み上げられ、ワイズメンはイエスキリストの教えに基づき誠



心誠意働くものであること、理想や目的に積極的に献身される誓いを大きな声で「はい!」と宣言され承認されました。お二人からもお祝いの言葉とプレゼントが渡され拍手で宝塚ワイズの一員になられました。

3月のスピーカーは関西学院大学教授、小池洋次氏のお話「リー・クワンユー・小さな国の大きな指導者」でした。



シンガポールの建国の父と言われるリー氏は一代でシンガポールを先進国レベルまで発展させた人物でその類まれな指導者とグローバル戦略こそ日本は今、学ばなければならぬものと話されました。

リー氏のメッセージは①シンガポールは普通の国ではないと言う事。多民族で多宗教の国でいつでも分裂しかねない要素を持つ。そればかりかアジアの中では点でしかない国である。②指導者の国防に賭ける多大なエネルギー。危機意識がそうさせたのか空軍は小国とは思えないレベルでは、また閣僚は最も有能な人を国防相にあててきた。③グローバル感度。世界と繋がらなければ国の存在すら危ういという意識である。世界の強国と関係を作りそれを国益の増大に活かすという戦略である。公のために自分が尽くすということを実証したリー氏に指導者としての凄みだけでなく人間として崇高さを感じました。

3月の誕生祝の後、男性組よりホワイトデーのマシュマロが女性組にプレゼントされ和やか雰囲気の中、閉会点鐘で例会が終了しました。

鯖尻 佳子

3月第2例会報告

3月19日(水)18時30分から逆瀬川ハッピーハウスにおいて第2例会が行われた。石田会長・杉谷次期会長は芦屋クラブ会合に参加のため欠席だったので、多胡、堀江、長尾、山崎、若林各メン、今田メネットで次の事項を協議した。

1. 4月例会運営について
ゲストスピーカーに杉谷メンから推薦のあった宝塚国際交流協会の理事長加藤啓子氏を迎え、協会の活動内容を紹介していただき、ワイズとの親交を深める機会とする。
2. 山崎メンから、6月7日(土)開催予定のチャリティー・バザー運営に関し関係者との調整状況、準備すべきことなど説明があり、これを了承した。
3. ブリテン4月号の編集について長尾メンか

ら寄稿分担、作業日程の説明があり、これを承認した。また、「今月の聖書」担当者（浅田牧師）から後任をさがして欲しい旨の申し出があり、早急に当たることとした。

4. 多胡次期六甲部長の活動を支えるため、六甲部としての課題等について意見交換をした。
若林書記

会長報告

1. 六甲部第2回評議会開催

2014年3月15日（土）、15:00から、神戸YMCAチャペルで開催されました。多胡、堀江、長尾、石田の4名が出席。

7月キックオフから8か月、折り返し地点を過ぎていよいよ各事業、各クラブの活動のフィニッシュに向かっていきます。

第1部は通常通り、山田滋己六甲部長の開会点鐘で始まりました。ワイズソング、聖書朗読・祈祷、挨拶に続き、議事に入りました。部長、各事業主査、会長の活動中間報告に続き、次期六甲部役員の承認が次期部長・多胡葉子ワイズから出され、7クラブ輪番制の事業主査制と西日本区5事業の適切な摺合せの説明がありました。初めてのケースで混乱は起こるでしょうがスムーズに運営出来るように学び合いたいと思います。

現在六甲部は154名の部員数、200名に増員されればもっとパワフルになるでしょう。そのために出来ることは何かあるか、次期部長を出すクラブとしても真剣に考える必要があります。

次次期部長は、神戸クラブの進藤啓介ワイズが承認されました。

山田部長は就任以来、現役の仕事をこなしながらの重責を果たしてこられた中で、人

事異動、事業所移転など次々とハードルが現れて大変なエネルギーを費やされた8か月だったとお察しします。

部長主題は「さらなる交流 さらなる国際 さらに活発な六甲部へ」、副題は《一つ一つの楽しい活動を原点にして》です。私の今期会長としての主題も「交流こそワイズの楽しさ」です。

「楽しい例会実行委員会」を作り、多くのゲスト・ビジターに来て頂き、さらなる交流を図って来ました。そして1名の仲間をクラブに与えられました。ワイズ活動の原点は「楽しい」ことです。期末まで目標に近づけるようにみなさんと共に励んでいきたいと思いました。

2. 第17回西日本区大会

2014年6月14日（土）～15日（日）、岩国で開催されます。現在、参加登録は11名です。ホストは私達のブラザーである岩国クラブと岩国みなみクラブ。

ブラザーとして可能な限りの協力・支援をしましょう。大会当日、岩国カレーを私達で販売しファンディングのお手伝いお考えています。

石田由美子

次期会長、主査研修会報告

西日本区次期会長研修会は2014年3月8日（土）～9日（日）に主査研修会と同時にチサンホテル新大阪において開催された。

第一日目：開会式に続いてクラブ例会同様の進行の後オリエンテーションが行われた。その後全体会で元理事の大野氏の「ワイズメンズクラブの将来」の講演。内容は大変斬新なアイデアでクラブを発展された体験談。ボランティア活動は人間形成につながるととらえて若いメ

メンバーの参加をPRすることが大事と話され、改めて例会の内容の充実が大切であることを実感した。午後は「会長の責務」「キリスト教理解」を受講。

想像していたより研修は過密スケジュールで計画され経験の有無にかかわらず全員の真剣な姿勢に好感を持ち私自身も改めて研修の重要性を実感した。

初日の午後の研修が終わり緊張から解放され大いに親睦を深める懇親会だった。

第二日目：早天礼拝から二日目の研修開始。「YMCA理解」「会長事務手続き」を受講。配布された資料を参考に受講したが、頭の中は真っ白。実務を通して、先輩メンズの指示を仰ぎ体験学習に期待しようと思った。ランチを挟んで各部ごとに懇談会パート1&2が企画されていたのは大変良かったと思った。六甲部部長を議長として六甲部の方針・活動について活発に意見を交換し話し合うことでとても親しさを増すことができ意義ある時間を共有した。2014-15年度西日本区主題：松本武彦（大阪西）理事の下、「響き合い、ともに歩む To walk together, echoing each other」—こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく—この精神をクラブでも反映しながら来期一年しっかりと宝塚クラブの魅力を持続しながら活動し、更なる発展を目標にしたいと決意し研修会を終えた。頭は真っ白、頼りにするのは先輩ワイズメンとマニュアル。 次期会長 杉谷和代

3.11 支援プロジェクト
揚がれ！希望の凧～宝塚から東日本へ～

今回で3年目になる東日本大震災支援プロジェクト、揚がれ！希望の凧のプログラムを3月11日に実施。

12時前に主催者のむこがわ学校と宝塚ワイズのメンバーが会場のはんしん自立の家に集合。はんしん自立の家は会場の提供、昼食として非常食と豚汁も用意して下さって初めての非常食を味わい、準備に取りかかった。

13時前には次々と参加者、ボランティアの方々が到着。さざんか福祉会の凧制作部の用意して下さった和凧に被災地の方々へ絵、文字等でメッセージが書かれ、思い思いの凧が仕上がっていった。

13時30分から特別プログラムとしてはんしん自立の家でボランティアとして関わっておられる大林正治さん（前宝塚ワイズのメンバー）の「ハナミズキのみち」・・・津波で亡くされた息子さんへの思いを書かれた絵本・・・の朗読、そしてみんなで「花は咲く」の追悼の大合唱。

14時から各自で作った希望の凧を武庫川河川敷（むこにゃん広場）にボランティアの方々とともに運び東日本へと大空に向かって凧揚げが開始された。

宝塚市市制60周年を記念してつくられた手塚キャラクターの連凧、宝塚歌劇100周年を記念しての歌劇ラインダンサーの連凧も加わり、むこにゃん広場は東日本の被災地の方々への追悼の思いと復旧、復興の願いをこめて沢山の凧が大空に舞いました。



14時46分には参加者全員で黙祷を捧げた後自立の家の会場に戻り、用意されていた甘酒を参加者みんなでいただき、散会しました。

今回の参加者ははんしん自立の家の入居者の方々を中心に周辺の福祉施設の関係者の方々、特別支援学校の生徒さん達、一般市民の方々そしてボランティアとして神戸医療福祉専門学校、関西学院大学生、宝塚青少年育成市

民会議、むこがわ学校の方々が110人。西宮YMCA、宝塚、西宮、神戸、神戸ポートワイズのメンバー25人と総勢135人の参加であった。

提唱者の奈良昭彦さんも参加され、神戸新聞社の取材も受けました。

多くの方々の協力のもと特に障がいのある参加者の方々がボランティアの方々と一緒に大空に高く高く揚がってゆく凧をすばらしい笑顔で追っておられる姿はとても感動でした。きっとこの思いは東日本の被災者の方々にも届くことでしょう。ワイズのメンバーだけでなく多くの地域の方々との連携のもとに実施されたこの支援プロジェクトは今後のワイズ活動のひろがりにも繋がることでしょう。

多胡 葉子

「はんしん自立の家」石田 英子

「揚がれ希望の凧」東日本大震災支援プロジェクトに参加した「はんしん自立の家」は心身に重い障害のある人たちの生活の場です。地域の中で生きていきたいと願い、多くの方の協力で活動をしています。昨年は「きらりと輝くアート展」で

発表の場を作っていただきました。3月11日、「希望の凧あげ」に参加さ



せていただきました。武庫川河川敷に車椅子でおり、「むこにゃん広場」に集まりました。東日本大震災のときから仙台YMCAをとおして、思いを届け、ささやかに応援をしている私たちにとってこのイベントへの参加はうれしいものでした。みんなで作った凧は見事に高く揚がりました。診察をしにきた精神科のお医者さんが「あんな笑顔は見たことがない」と驚くほど、入居者のカオリさんは「天国のお母さんにも見

えたかな」とつぶやきながら空高く舞う凧を追って顔を上げ胸を張りすてきな表情でした。東日本にもガザにも天国にもつながりました。そして、たくさんの方に支えられていることを実感した1日でした。

スペシャル・オリンピックス日本・兵庫
チャリティーディナーに参加して

寒さが幾分和らぎ、本格的な春の到来が待たれる3月17日ホテルオークラ神戸で

第六回スペシャルオリンピックス日本夏期ナショナルゲーム福岡、兵庫選手団支援のチャリティー・パーティーが開催された。



従来まではチャリティー・ゴルフであったが、参加人数も2~30名と限られており、今回は趣向を変えての初のディナー・パーティーとなった。

宝塚クラブもスペシャルオリンピックスを支援しており、今回は長尾メン、杉谷メン、福田(宏)が参加した。

パーティー開会前にはお茶席が設けられて、お抹茶がふるまわれた。副会長の「開会のことば」に続き、仕舞：観世流「羽衣」がボランティアの方々より披露され、会長の挨拶、スペシャルオリンピックス活動紹介がビデオで流された。会食は桃花林の中華料理がふるまわれ、しばし料理に舌鼓した。会場の片隅には手相鑑定コーナーが設けられ列をなす盛況ぶりであった。お腹も満腹になった頃、ソプラノ独唱、ピアノ演奏が披露され、230余名の参加者は美しい歌声と音色に聞きほれ、復興支援ソング

「花は咲く」を合唱し、実行委員長：城純一氏の「閉会のことば」で幕を閉じた。会費の20%、手相鑑定代はすべて寄付されること。身も心も充実した至福の時であった。

福田 宏子

メネット会の報告

春の日差しを感じた日に今田メネットより「うちでメネット活動としておひな祭りをしましょう」との連絡が入りました。

いくつになっても女性はお雛様大好きです。早速伺うお返事をしました。

3月18日、今田邸に10名が集まり、すばらしいお雛様の御殿飾りを拝見し、今田メネットの心のこもったお料理を満喫いたしました。



お料理もおいしければその器のかわいさもごちそうでした。お話も弾み、日本の伝統文化ここにありとを感じる一日でした。

お招きいただいた今田夫妻に感謝すると同時に又来年も伺えますようにと願っております。

福田素子メネット

我が家では、3月3日から4月3日の間でひなまつりを催します。

ひな人形も会席揃いも私の初節句以来80年余り、献立も料理も祖母から母、母から私がうけついで来ました。3人の娘達も夫々の友達を招いて幼稚園から大学までずっと楽しみました。今年はメネットの皆様にご集っていただき、小さなひな膳で会食、喜んでいただけて嬉しかったです。今田 和子メネット

バザー委員会報告

☆第27回宝塚YMCAチャリティーバザー開催27回目を迎えるチャリティーバザーを開催いたします。

6月7日(土)AM11時から カルチエヌーボ宝塚 逆瀬川 1階メインフロア
蚤の市・ラッキー抽選券・ソフト&アイスクリーム、焼きそば販売等楽しい1日にしたいと思います。

これからの2カ月、開催PR、蚤の市で販売する商品集め、ラッキー抽選券と交換する賞品集め、食品販売の準備等忙しい期間ですが、皆様のご協力よろしくお願い致します。

なお、6月5日(木)6日(金)2日間は品物の集荷・仕分け、造作物の作成等準備日で、場所は会場の2階の部屋を貸して頂くようにしております。宜しく致します。

バザー委員長 山崎泰男

【今月のみ言葉】

浅田容子牧師

多くの皆様に「おかえりなさい！」の言葉を掛けて頂き、任期を終えてNYから帰国しました。「ふるさと」に戻った安心感と、温かい家族、友人、教会に受け入れられている喜びが心一杯に広がりました！！同時に、私はNY、シカゴ、ハワイにも「母教会」と共に多くの友人を持っている事の喜びと、第二の故郷を離れた寂しさも味わっているこの頃です。どこでも、愛する人々がいるところ、私の心があるところが私のホームです。

「ただいま」

がっこうからかえったとき、わたしがふざけて「おじゃまします。」っていったらおかあさんが「あ、よそのこがきた。いらっしやい。」といったのでわたしは、なんだかきゅうに さびしいきもちになりました。

だからわたしは「おじゃましました。」とってそとにでて、こんどは「ただいま。」といました。

そしたらおかあさんが、にこっとわらって「おかえりなさい。」といったのでわたしは、ようやくほっとしました。

(大久保瑠奈、1年生)

「しあわせ」

わたしが学校からかえってくると「おかえり おかえり おかえり おかえりなさい」とみんなが言う わたしはおかえりの数だけ ただいまを言う

そのたびにわたしはしあわせだなと思う。

(岡見知穂、2年生)

この二つの詩は子供が学校から家に帰ったときの気持ちを良く表現しています。「ただいま！」と家に帰ったときに「おかえりなさい！」と笑顔で出迎えてくれた母親に、子供は自分の愛する家族のところに帰宅した安心感を持ちます。「わたしはほっとしました。」と瑠奈ちゃんを書きました。ここが私のいるべき所。愛する父母のいる家庭、ほっとくつろぐ場所なのです！「しあわせ」の詩では、学校から帰宅すると、いつも家族一同から「おかえり、おかえり、おかえり、おかえりなさい」と口々に迎えてもらって、知穂ちゃんは「そのたびにわたしはしあわせだなと思う」と嬉しい気持ちを書いています。彼女の大きな幸福感が私達にも伝わってきます。自分をいつでも迎えてくれる家庭のある人々、子供たちは本当に幸せです。

今月の聖句は「放蕩息子」と呼ばれているイエス様の語られた最高のお話、「父なる神の愛」のお話です。家を飛び出して放蕩の限りを尽くし、「もう息子の資格は無い」と後悔して父の家に戻ってあやまる息子のために「急いでいちばん良い服を持って来てこの子に着せ、手に指輪をはめてやり、足に履物を履かせなさい。」と父親は命じて息子の地位を回復してやり、お祝いの食卓の準備をさせ、「肥えた子牛を連れてきて屠りなさい。食べて祝おう。この息子は、死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったからだ。」と大喜びで歓迎しました。この父の姿は父なる神の愛・赦し・和解を表しています。父は息子の帰宅を待ちわびていたのです。帰郷。帰宅。家庭と親の愛と赦し。兄弟の争いと嫉妬。このイエス様のお話はどの時代でも、どの国でも見られる話で、我々自身の家庭を見つめなおさせてくれます。イエス様のこのたとえ話は、読むたびに父なる神の慈愛が胸に沁み、自分が今、父のもとにどうか考えさせてくれます。この次男の姿こそ父なる神の元を離れ去っている（或いは離れていた）自分の姿と感じませんか？聖書を開いて、この「父の愛と赦し」のお話を味わってみませんか？

3月5日(水)は今年の「灰の水曜日：Ash Wednesday」でした。この日に守られる礼拝では、悔い改めの印である「灰」を額(ひたい)に付けてもらいます。この日からイースター(復活日)まで、日曜日を除いた40日間を「Lent、レント：受難節」と呼び、キリストの苦難の意味を考え信仰を新たに作る季節です。礼拝堂に用いられる典礼色は「悔い改めの紫」を用います。今年のイースターは4月20日です。お互いに悔い改めて、素直に父なる神のもとへ帰って行こうではありませんか！！

YMCA だより



1. 東日本大震災支援、街頭募金、実施

去る3月21日(祝・金)に西宮、三田、学園都市、元町大丸前において、東日本大震災支援のための募金活動が開催され、合計で87名の方々が参加して下さり、総額で18万円弱の募金を得ることができました。当日は風が強く、時おり突風舞い、曇りが降るような天候でしたが、それでも温かい陽射しも差す春特有の一日でした。そのような中、多くのボランティアが大きな声を出して、行き交う人々に募金を呼びかけ、大きな成果を挙げてくださいました。震災から3年が経ち、私たちの日常生活の中では震災を忘れかけていますが、被災地ではあまり変わらない日々が続いていると報道されています。神戸YMCAでは震災支援のリーダー会が毎月、街頭に立ってくださっていますが、今回は啓明学院の高校生やワイズメンズクラブメンバー、ボランティアリーダーなど多くの方々が参加していただきました。重ねて感謝いたします。

2. ファミリーウエルネスセンター開設準備室、オープン!

中央区脇浜に建設中のファミリーウエルネスセンターに程近いJR灘駅前に、去る3月8日(土)「開設準備室」がオープンしました。灘駅の南側階段を下りると目の前にYMCAの文字が目に入りそうな場所に準備室が与えられ、これから開設まで、申込受付や案内の場所として活躍が期待されます。3月8日には新聞折込チラシが配布されるなど広報を進めます。工事も5階までの鉄骨が組みあがり、上棟式も終わり、急ピッチで外装工事が進められていく予定です。先日、阪神高速をバスで通りました

が、工事現場がよく見え、阪神高速や2号線からもYMCAのマークがよく見えることになると思われます。建物だけが新しくなってもいいかもしれませんが、中身のリニューアルも期待して、完成を待ちたいと思います。

3. 今後の予定

1) イースター早天礼拝

神戸YMCAでは、毎年イースターに神戸YWCAとともに早天礼拝を守っています。どなたでもご参加自由ですのでお近くの方はどうぞ。
日時 2014年4月20日(日) 午前7時から、場所 神戸東遊園(神戸市役所南側) 雨天の場合は神戸YMCAチャペル
メッセージ 「もう石はない」 汐碓 直美伝道師(日本基督教団神戸栄光教会)

2) 創立記念日礼拝

神戸YMCAは、2014年5月8日(木)で創立128周年を迎えます。今回は、前神戸キリスト教青年会会長 宝塚ワイズメンの武田寿子様をお迎えして「YMCAからの賜物」というタイトルでメッセージをうかがいます。記念礼拝を通して、創立当時の指導者の志にあらためて思いをいたし、未来に向かって私たちの志を確認したいと思います。どなたでもご自由にご参加ください。

日時 2014年5月8日(木) 午後6時30分~8時

会場 三宮会館 チャペル